

萩の台地区グリーンスローモビリティ効果検証支援業務 特記仕様書

1. 委託業務名

萩の台地区グリーンスローモビリティ効果検証支援業務

2. 業務の目的

本業務は、住宅開発から約 40 年が経過し高齢化率は約 50%と、オールドニュータウン化が進む萩の台地区において、地域住民の日常生活に必要な買い物や通院の移動手段確保のため、萩の台住宅地のラストワンマイルとして、令和 6 年 10 月から実証運行を行っているグリーンスローモビリティ（以下、「グリスロ」という）について、既存コミュニティバスたけまる号との比較を踏まえ、当該地域に適応する移動手段を昨年度に引き続き検証することを目的とする。加えて、当該地域における実証運行で得られた情報をもとに、将来において予想される本市におけるグリスロ運行の横展開に必要となる条件等の整理を行う。

3. 業務内容

3.1. 利用実績整理

萩の台地区グリスロの利用実績表（運行主体が紙媒体で記録・管理している）を用いて、利用状況を整理する。利用状況の整理は、生駒市地域公共交通活性化協議会（令和 7 年度は 3 回程度開催）で報告するため、協議会用資料としてとりまとめる。なお、利用状況の整理は、以下の項目について実施する。

- ・日々の利用状況の推移
- ・曜日別ダイヤ別の利用状況の整理
- ・曜日別乗降場所別の利用状況の整理
- ・季節別（または月別）の利用状況の整理

3.2. 住民アンケート調査

令和 7 年度の運行の評価や住民の外出特性の変化、今後の運行継続等について、住民を対象としたアンケート調査を実施し、調査結果をとりまとめる。

- ・調査票の設計：A3 用紙両面 1 枚二つ折り程度とする。
- ・調査対象：萩の台 2～4 丁目の住民を対象とする。
- ・配布数：約 700 件

- ・配布及び回収：調査票の配布は自治会経由とする。回収は郵送回収とする。
※配布に際して、発注者や運行主体から名簿等の提供は行わない。
- ・集計分析：単純集計を行うとともに、丁目や組などの地域特性や年齢等の個人属性を用いてクロス集計を行う。また、令和6年度住民アンケート調査結果との比較を行う。

3.3. 利用者アンケート調査

令和7年度の運行の評価や実際の利用状況、利用者の外出特性の変化、今後の運行継続等について、利用者を対象としたアンケート調査を実施し、調査結果をとりまとめる。

- ・調査票の設計：A4用紙両面1枚二つ折り程度とする。
- ・調査対象：グリスロ利用者を対象とする。
- ・調査期間：おおむね3週間実施（6運行日）
- ・配布及び回収：調査票の配布はドライバーもしくは添乗員から直接配布とする。回収はドライバーもしくは添乗員への手渡し、または自治会館の回収ボックス設置とする。
- ・集計分析：単純集計を行うとともに、丁目や組などの地域特性や年齢等の個人属性を用いてクロス集計を行う。また、令和6年度利用者アンケート調査結果との比較を行う。

3.4. 自治会運行支援

必要に応じて運行管理内容の見直しや更新等を行って自治会の運行管理をサポートし、日報等、利用実績データを整理してとりまとめを行い市に提出するとともに、行政と地域の役割分担についてあるべき体制を整理し、それに向けた移行を支援する。

整理された利用実績データをもとに地元と協議し、新たな運行形態の制度設計の検討及び資料作成を行う。また、そのために開催される地元との会議の開催支援を行う。

3.5. 萩の台地区におけるグリーンスローモビリティの評価・検証

上記1～3の調査結果等をもとにして、グリスロの利用特性や運行・運営上の課題を整理するとともに、グリスロ運行による地域や個人への影響・効果を整理する。

また、下記項目においてデータ整理及び分析を行い、グリスロの本格運行に向けた評価・検証を行う。

- ・利用実績や運行管理状況からみた持続可能性の検証
- ・運行経費や行政負担状況のコミュニティバスとの比較
- ・既存公共交通（コミュニティバス）との競合性の検証
- ・グリスロ運行による直接的効果および副次的な効果の検証
- ・グリスロの今後の運行形態の拡張性の提案
- ・生駒市内での横展開に向けた整理
- ・横展開用資料の作成（簡易なチラシを想定）

※なお、上記の評価・検証を行うにあたっては、昨年度からの評価・検証を踏まえ、他自治体の実績や効果検証資料などを参考に行うものとする。

4. 業務期間

契約締結日から令和 8 年 2 月 13 日まで

※本業務は、国土交通省 令和 7 年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(共創モデル実証運行事業)の補助金を活用して実施予定であり、国への完了実績報告が令和 8 年 2 月 27 日までに必要であるため留意すること。

5. 打合せ協議

初回、中間 3 回、最終の計 5 回

6. 報告書とりまとめ

利用実績のまとめや、各種調査結果、課題の整理等、とりまとめ、業務報告書を作成する。

- ・ 本業務に係る報告書、電子データ：一式
- ・ 関係資料（議事概要等）：一式

7. その他

本特記仕様書に定めのない事項や疑似が生じた場合は、別途協議するものとする。